

非正規職シングル女性の「今」を知り、支援について考える。

あすばるセミナー、**緊急開催決定！**



2018年度あすばるセミナー

非正規職シングル女性のリアル ～女性活躍社会のもとで～

雇用されて働く女性の約55%が非正規職です。生涯未婚率の上昇を見てもわかるとおり、独身で働く女性も増えており、その中で低収入の非正規職で働く女性も増え続けています。今まで見過ごされてきた非正規職シングル女性の現状を知り、必要な支援について考えるセミナーです。

日時

10月25日(木) 13:30～15:00

会場

クローバープラザ東棟7F
福岡県人権啓発情報センター 視聴覚研修室
(福岡県春日市原町3丁目1-7 JR鹿児島本線「春日」駅から徒歩)

定員

100名 (事前申込制) ※先着順

内容

講義及びディスカッション

<講師> 野依 智子さん (公立大学法人福岡女子大学 教授・副学長)

<ゲスト> 菊池 悦子さん (第1回 日本女性学習財団 未来大賞 受賞者)

対象者

関心のある方どなたでも

参加費

無料

申込

Webまたは電話での申し込みをお願いします。

<Web> <https://event.asubaru.or.jp/event/32>

<電話> 092-584-3739

申込みは
コチラ



企画概要

社会経済の状況が大きく急速に変化している一方で、いまだに社会保障制度や賃金体系は、女性は男性に扶養されるものとした「男性稼ぎ主」が前提です。そして、雇用されて働く女性の約55%が非正規職ですが、「非正規」＝「既婚女性が家計の補助として働く雇用形態」というのがこれまでは一般的でした。

しかし、生涯未婚率が上昇しているなか、独身で働く女性も増えており、その中で低収入の非正規職で働く女性も増えています。女性活躍推進が叫ばれる昨今、女性管理職育成や起業支援、「仕事」と「家庭」の両立支援、ひとり親家庭への施策などは目にしますが、非正規職シングル女性にフォーカスした支援はありません。

本セミナーでは、これまで注目されてこなかった非正規職シングル女性たちにスポットを当て、現状を理解し、支援について考えたいと思います。

講師紹介



【講師】

公立大学法人福岡女子大学 国際文理学部教授・副学長

野依 智子さん

独立行政法人国立女性教育会館研究員を経て現職。専攻は、女性労働史、ジェンダー、社会教育学。主要著作に『近代筑豊炭鉱における女性労働と家族－「家族賃金」観念と「家庭イデオロギー」の形成過程』（単著、明石書店、2010年）、『シングル女性の貧困－非正規職女性の仕事・暮らしと社会的支援』（共編著、明石書店、2017年）、『家族・地域のなかの女性と労働－共稼ぎ労働文化のもとで』（共著、明石書店、2018年）



【ゲスト】

第1回 日本女性学習財団 未来大賞 受賞者

菊池 悦子さん

高校卒業後から約20年間、書店、スーパー、デパート等の販売員として働く、そのほとんどが非正規雇用であり、不安定な労働環境にだんだん疑問と不安を感じ始める。自分の人生と、女性の働き方の未来に希望がもてないことについて考えたいと思い、社会学を学ぶために38歳で大学入学。その経験をもとに書いたレポート「どうして私たちは輝けないのだろう」※ で、第1回 日本女性学習財団 未来大賞を受賞。

※男女共同参画のための専門情報誌、月刊「We learn」2018年3月号（日本女性学習財団発行）に掲載。